

視聴覚教育

教育の情報化に際して

学習情報部長 高木和広

平成十八年度が始まり、既に一か月半が過ぎました。学校、園、社会教育団体においては、それぞれの目標のもとに、その達成に向けて着実に歩みを進めてみえることと思います。

さて、「教育の情報化」を巡る展開として、文部科学省生涯学習局から次のような記事が雑誌に載せられていました。

政府のIT戦略本部においては、二〇〇六年以降「我が国が世界のIT革命を先導するフロントランナーとなる」ための新たな戦略の策定に向けて、民間有識者の意見を踏まえながら具体的な検討を進め、平成十八年一月に「IT新改革戦略」を策定しました。本戦略では、ITを改革を支えるツール(手段)として位置付け、構造改革による飛躍、利用者・生活者重視、国際貢献・国際競争力強化の三つの理念を掲げています。

文部科学省関係では、「次世代を見据えた人的基盤づくり」や「世界に通用する高度IT人材

NO.322

発行日

18.5.16

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

「ワンセグ」
地上デジタル放送のサービスの一つで、携帯型受信機などでも受信ができるように設計されたもの。地上デジタル放送の一部を利用して、「ワンセグ」独自のデータサービスや双方向サービスの利用が可能である。

材の育成」などが重点政策として盛り込まれており、ITの進展に対応し活用できる「人」を育てていくことは、政府の新戦略の中でも礎をなすものとなっております。また、「子どもの安全確保に向けたIT活用の推進」や、「ITを活用した生涯学習を振興し、すべての人が学びたい時に学べる環境の整備を図ることで、人々が元気で豊かに活動できる社会を実現」することの必要性が提言されるなど、IT活用の新たな可能性とその実現に向けた方策が盛り込まれています。

教育の情報化の推進は、我が国の基礎となる「人づくり」を支えるものであり、「IT新改革戦略」等に基づき、今後とも、新しい時代を切り拓くIT推進に私たちも積極的に取り組んでいくことが必要になってきます。なお、本年度は、愛知県放送教育特別研究会が岡崎市で八月に行われる予定になっています。研究的に取組み、研究会に備えたいものです。



「視聴覚教育あれこれ」

平成十八年度 学習情報部方針決定！

研究主題

高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう

研究の重点

学習メディア・パソコンの効果的な活用法の研究

校内ネットワークの環境整備と活用法の研究
新岡崎教育ネットワークの環境整備と活用法の研究

市自作ビデオの活用の促進と学校独自の自作視聴覚教材の制作

視聴覚教室やパソコン教室の総合的な管理・運営方法の工夫

学校教育放送・教育チャンネルや校内放送の活用法の研究

視聴覚ライブラリー教材・機材予約システムの効果的活用法の研究

主任会の活動

〔広報部会〕：授業実践や視聴覚関連の研究集積、研究誌や月報の発行、学習情報部のホームページ管理等

〔研修部会〕：各種研修会・講習会の計画・実施や各種視聴覚教材や教育メディアの研究、機器調査等

〔自作部会〕：自作教材ビデオ・自作マルチメディア教材の制作とその活用事例研究等

〔教科部会〕：「視聴覚教材・機器利用の手引き」発行、ソフトの利用促進と活用法の研究

「平成十八年度組織」 「視聴覚ライブラリー」

所長（教育長）

藤井 孝弘

副所長

内田 賢一

職員

宮田 典彦

松田 美智

部長

高木 和広（奥殿小長）

酒井 久男（福岡中長）

山田 賛平（藤川小長）

木島 節男（宮崎小長）

担当指導主事

小川 規博

（教育委員会学校指導課）

指導員

名倉 嘉章（六北中）

世話係

内藤 法雄（北野小）

小田 哲也（竜南中）

各部世話係

（広報）

佐渡 英彰（竜海中）

村田 貴志（甲山中）

〔研修〕

算 哲也（南中）

〔自作〕

川本 祐二（美川中）

坂田 健一（矢作中）

〔教科〕

長谷川 威全（額田中）

島田 繁直（六北小）

内田 雅之（井田小）

「レッツ・トライ」 《研究会》

・三教研自作教材研究会

8月3日 碧南市文化会館

・愛知県放送教育特別研究会

（東海北陸地方放送教育研究大会）

8月18日 岡崎市市民会館

・愛知県学校視聴覚教育研究会

研究発表（未定）

・放送教育研究会全国大会

10月13・14日 札幌市

・視聴覚教育総合全国大会

11月17・18日

青少年オリンピックセンター

この他、本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。

是非ご参加ください。

《研究論文》

・インターネット活用教育実践
コンクール

・松下視聴覚教育研究賞

・松下視聴覚教育研究助成

・東書教育賞

・上月情報教育研究助成

県や市の教育論文をはじめ多くの応募機会

があります。日頃の実践成果を是非まとめてみ

ましよう。

《コンクール》

・ふるさと岡崎メディアコンクール

・NHK杯中学校放送コンテスト愛知県大会

・全国子供科学映像祭 など

児童生徒の作品コンクールも多数あります。

参加してみませんか。

各種大会 ・研究会の案内

ライブラリーだよ

新年度がスタートしました。ライブラリーでは、機器・教材の活用について、社会教育・学校教育関係者のサポートをしています。相談・利用をお願いいたします。

教材などの配達・回収

視聴覚教材、16ミリ映画、ビデオ教材の利用を希望する小・中学校・園に配達・回収を行っています。毎週火曜日に配達、翌週の月曜日に回収に伺います。必ず電話（23 6789）で予約の上、お申し込みください。

また、「視聴覚機器・教材目録」、「視聴覚教材・機器利用の手引き」をご覧下さい。

ビデオ教材のダビングサービス

ライブラリーでは、制作した自作ビデオ番組やビデオ映像ラッシュ、行事記録等のダビングを行っています。お手持ちのビデオテープの背に「番組名」と「学校名」を記入の上、送付ください。原則として、1番組1本のテープでお願いいたします。（テープの種類は問いません）

「視聴覚教材・機器利用の手引き」第11集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなど、大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。

